

## 平成 23 年度 第 3 回高津区区民会議企画運営会議 摘録

- 開催日時 平成 23 年 10 月 6 日（木） 午後 6 時 00 分～8 時 20 分
- 会 場 高津区役所 5 階第 3 会議室
- 参加者 佐藤委員長、富田副委員長、若林副委員長、伊中委員、河村委員、仲村委員、横山委員（区民会議委員）  
秋岡副区長、八木課長、佐藤担当係長、塩沢職員（事務局・企画課）  
梅田（株式会社カイト）
- 次第
- 1 開会
  - 2 議事
    - (1) 第 2 回全体会議の振り返り
    - (2) 「新しい形のコミュニティづくり」今後の取組について
      - ・公園の活用
      - ・学校施設の活用
      - ・町会自治会未組織地域への働きかけ
    - (3) その他
      - ・今後のスケジュール(次回企画運営会議日程について)
  - 3 閉会

**1 開会**

佐藤委員長が開会のあいさつをした。

**2 議事****(1) 第 2 回全体会議の振り返り**

資料 1 「第 2 回区民会議要旨」にもとづき、事務局が説明した。

要旨に記載の参与について、同姓の議員については名前まで記載することを確認した。

**(2) 「新しい形のコミュニティづくり」今後の取組について**

事務局が資料 2 「「新しい形のコミュニティづくり」調査審議フローシート」、資料 3 「解決策検討シート」、資料 4 「公園を活用したコミュニティ活性化事業企画案」、資料 5 「地区町内会連合会への依頼文(案)」をもとに説明をし、意見交換をした。資料 5 「地区町内会連合会への依頼文(案)」については、次回全体会を待たずに早めに働きかけをすることを確認し、了承された。

主な意見は以下のとおり。

**【主な意見】****<公園の活用>****□公園ミーティング**

・公園を活用したコミュニティの活性化事業について、どのような取組になるのかまだイメージがわからない。(佐藤委員長)

⇒(事務局)それぞれの地区の特徴を生かした活動ができればと考えている。溝口南公園地区では、

こども文化センターと連携し、こども文化センターに来るこどもと公園管理運営協議会の活動を連携させるなどの取組も想定できる。継続した活動を作っていけると良い。

- ・溝口南公園にはたむろしている人たちがいる。その人たちへの対応も課題になる。(佐藤委員長)
- ・坂戸公園地区では、公園ミーティングを年3回行うのはプレッシャーだという声があった。(富田副委員長)

⇒(事務局)活用については、具体的なイメージが湧かないという話もあったので、初回では他都市の事例を紹介する予定。公園ミーティングのようなオープン形式で公園の活用を考える会合をやっている所もある。

- ・活動が具体的になってきたら、伊中委員や河村委員にも会議に参加してもらい、今までの活動など話をしてもらえると良い。(佐藤委員長)

⇒(事務局)公園ミーティングでは「遊びの出前」を同時開催する形を考えており、河村委員と調整している。「遊びの出前」に遊びに来た親たちにも加わってもらえるようにしたい。毎回「遊びの出前」に協力をお願いするかどうかは検討が必要。

- ・高津第1地区社会福祉協議会では、毎年8月末に溝口南公園で移動動物園をやっている。今年は台風で取止めになったが、親子で300~400人集まる。現在は管理運営協議会との連携はしていないが、今後は検討したい。(横山委員)

#### □公園管理運営協議会との連携

- ・溝口南公園で気になるのは弁当殻等の清掃だ。公園管理運営協議会の業務には、定期的な掃除やゴミの始末、手の届く範囲の樹木の剪定、利用調整等がある。公園は放っておくと荒れるので、定期的に清掃活動をしているのであれば、その活動に利用者も参加してもらうのが一番良い。(伊中委員)

⇒(事務局)毎月第4火曜日に清掃をしている。

- ・大山小径にもゴミが散乱している。こちらも掃除してはどうか。皆できれいにしよう、というところから地域のコミュニティができると良い。(横山委員)
- ・大山小径は管理運営協議会の管理ではないが、世話人会で相談してみる。(佐藤委員長)

#### □こども文化センターとの連携

- ・末長こども文化センターでは毎年「こ文まつり」を開催し、利用者と地域の連携の機会になっている。高津こども文化センターでも「こ文まつり」を開催しているのであれば、管理運営協議会とも連携して公園の敷地全部を使った祭りにしてはどうか。(仲村委員)

- ・高津こども文化センターでは毎年2月に「こ文まつり」を開催している。公園も使い、日体大のチアリーダーを呼ぶなど大規模に行なっている。高津・久地・下作延小学校と西高津中学のPTA、こども会、青少年指導委員会、下作・溝口町会と連携してやっているの、高津こども文化センター独自での判断はできかねるのではないか。(佐藤委員長)

- ・こども文化センターの指定管理を受託している公益法人川崎市民活動センターでは、地域と連携を深める方向性にはなっているが、地域によってはうまくいかない所もあると聞いている。地域住民の声として、積極的に関係を持ちたいことを伝える必要がある。早めに動き、こちらの意思表示をしていかないとうまくいかないのではないか。(仲村委員)

⇒(事務局)市民活動センターに、区民会議との連携のもとに行う事業がある旨の説明をし、文書による依頼もする予定だ。

- ・子ども会が締め出されて困っているという話も聞いているので、こうした機会を利用して、連携することで互いに良い効果があることをアピールしていきたい。(仲村委員)

⇒（事務局）区の事業の中で、こども文化センターに一翼を担っていただく可能性が強くなることを市民活動センターに話をしようと考えている。

- ・市内のこども文化センターは、すべて市民活動センターが受託しているのか？（横山委員）

⇒（事務局）こども文化センターはすべて指定管理者になっているが、すべてを市民活動センターが受託しているわけではない。

- ・高津こども文化センターの会議室は誰でも利用できるのか？（伊中委員）
- ・団体登録をすれば、こどものいない時間帯の午前中と夜間に利用できる。（仲村委員）
- ・公園に集まってくる母親達が、その流れで会議室等を利用できると良い。（伊中委員）
- ・フリーで使うことはできるが、団体の場合は登録が必要。以前に比べると、乳幼児の居場所でもあるという認識がもたれているので、乳幼児の親子も入りやすくなった。（河村委員）
- ・公園を利用する人が、こども文化センターも使っていっていいと思ってもらえると違って来る。（伊中委員）
- ・館にもよるが、子ども会とうまくいっていないと思うことがある。子ども会の行事で使いたくても、その時間帯は無理と言われることが多い。地区の子ども会に入っているこどもでなければダメということもある。子ども会としてはお祭りには協力をしているのに、どうして荷物も置かせてもらえないのかという声を聞く。子ども会も人数が減ってきているので、お互いに補い合って活動が活発になれば良いのではないか。（河村委員）
- ・以前は、学童クラブのこども文化センター、子ども会のこども文化センターという状況になっていたこともある。（若林副委員長）
- ・占拠されるのも困るが、約 20 年前に高津こども文化センターの館長が灯籠流しを始めて、灯籠を作る会場になっていた。今でもこの時期になると地域の男の子たちが手伝いにくるといったように、地域との関わりができやすかった。開かれたこども文化センターと公園の管理運営がドッキングできると良い。（伊中委員）

#### <学校施設の活用>

- ・子母口地区の「ザ北風っ子」については、日程が決まれば区民会議で見学に行くことにしたい。（佐藤委員長）

#### <町会組織加入に向けたアプローチ>

- ・久地地区をターゲットにして進めていく。区民会議の説明をする必要もあるだろう。（佐藤委員長）
- ・どんどん進めて欲しいというお話をいただいている。（富田副委員長）
- ・区民会議としての今後の具体的な取組はどうなるのか。（横山委員）

⇒（事務局）区役所にコミュニティの活性化事業があり、今年度は、町連でもこの種の問題に取り組んでいる。この事業と呼応する形で、区民会議の文書も付けて推進する。地域振興課が所管する事業として具体的に取組んでいく予定だ。

- ・民生委員にも声をかけてもらえるといろいろな連携ができる。（横山委員）
- ・町内会連合会と民生委員児童委員協議会が連携をしなければならない課題はいくつもある。一度話し合いをしなければいけないので、地区町内会連合会に提案していく。（富田副委員長）

#### □大規模高齢者施設の加入に関する課題

- ・宇奈根地区に 100 余名が入居する有料老人ホームがあるが、入居者は町内会自治会に加入していない。災害時等は自己責任で対応できるのかという問題がある。夜間は職員も少なく、何かあれば地域の人

が助けに行くことになるだろう。地域の町内会自治会との連携を進める必要がある。認可等も必要なので行政から指導しやすいのではないか。(富田副委員長)

⇒(事務局)安全対策がどうなっているかについては聞いているだろう。

- ・介護保険で把握できない高齢者が問題だ。(富田副委員長)
- ・地元の町内会自治会と密接に連携しているグループホームもある。(若林副委員長)
- ・下作延のシニア住宅では町会費を年間で納めてもらっている。別の病院併設の施設は寝たきりの状態の人も多く、賛助会費を納めてもらっている。町会自治会の活動には参加しないが何かあったときには連携することになっている。施設見学や施設のお祭りに行くなどの交流をしている。(佐藤委員長)
- ・宇奈根・久地地区の多数あるワンルームマンションが、自立型の老人施設になっているようだ。(若林副委員長)

### <取組の進捗状況について>

「公園を活用したコミュニティの活性化事業」の世話人会の取組、町会組織加入に向けたアプローチについては、次回の企画運営会議で進捗状況を報告することが確認された。

### (3) その他

#### □今後のスケジュール

事務局が資料6にもとづき、今後のスケジュールを確認した。

\*次回企画運営会議 11月7日(金) 18時～

#### □高津区民会議フォーラムについて

- ・「公園を活用したコミュニティの活性化事業」の各モデル地区の活動報告を行うことが確認された。
- ・事務局から、前回はエコエネライフコンクールの表彰式を第1部に行なったが、今年度はエコシティで行うことになっているため、区民会議で何らかの集客の仕掛けを考える必要がある。区の中でも地域振興課以外の課のイベントと同時開催の方法を模索しているが、企画運営会議の各委員の所属団体のイベントとの同時開催について検討して欲しい旨の要請があった。

#### □イベントについて

事務局から以下のイベントについて紹介があった。

- ・大山みちまちウィークエンド内プログラム「二子の渡し体験ツアー」(10月29日開催)
- ・高津区ふるさとアーカイブ事業ワークショップ「古い写真の謎を解こう」(11月19日開催)

## 3 閉会

## 平成 23 年度 第 4 回高津区区民会議企画運営会議 摘録

- 開催日時 平成 23 年 11 月 7 日（月） 午後 6 時 00 分～7 時 50 分
- 会 場 高津区役所 5 階第 6 会議室
- 参加者 佐藤委員長、富田副委員長、若林副委員長、伊中委員、河村委員、横山委員、安達委員（区民会議委員）  
秋岡副区長、八木課長、佐藤担当係長、塩沢職員（事務局・企画課）  
福田、梅田(株式会社カイト)
- 次第
- 1 開会
  - 2 議事
    - (1) 第 3 回企画運営会議の振り返り
    - (2) 「新しい形のコミュニティづくり」各取組の進捗状況について
      - ・公園の活用
      - ・学校施設の活用
      - ・町会自治会未組織地域への働きかけ
    - (3) たかつ区民会議フォーラムについて
    - (4) その他
      - ・第 2 回区民会議摘録
      - ・次回区民会議の議題について
      - ・今後のスケジュール
      - ・区民会議ニュース
      - ・公園ミーティング
  - 3 閉会

**1 開会**

佐藤委員長が開会のあいさつをした。

**2 議事****(1) 第 3 回企画運営会議の振り返り**

資料 1 「第 3 回高津区区民会議企画運営会議摘録」にもとづき、事務局が説明した。

11 月 24 日に開催される高津区民会議全体会で、資料として配付し、若林副委員長が経過を説明することを確認した。

**(2) 「新しい形のコミュニティづくり」各種取組の進捗状況について**

事務局が資料 2 「「新しい形のコミュニティづくり」調査審議フローシート」、資料 3 「解決策検討シート」、「たかつ区民会議ニュース第 6 号」をもとに説明をし、意見交換をした。

主な意見は以下のとおり。

**【主な意見】**

<公園の活用>

## □溝口南公園

- ・防災を含め、公園ミーティングを開催する中で参加者の意見を聞きながらテーマを絞り込んで進められると良いという意見だった。(佐藤委員長)
- ・まず11月16日(水)に第1回公園ミーティングを開催し、さらに土日などの休日に違う形で開催することで、多様な利用者の声を吸い上げられると良い。(佐藤委員長)
- ・溝口南公園周辺には、第二町会、第三町会もある。世話人会には第一町会しか参加していないが、第二町会、第三町会の町会長には事前に声かけをした方が良い。(安達委員)
- ・第二町会には溝口緑地公園があるので、溝口南公園は別町会の公園というイメージがある。(横山委員)
  - ⇒(事務局)何らかの形で第二町会、第三町会にもお知らせをする。
- ・公園ミーティングで何をするのか。町会が参加することの意義を明確にする必要がある。(横山委員)
  - ⇒(事務局)公園の遊具をどこに設置するかといった公園の使い勝手一つをとっても、町会、こども支援室、公園センター等によって意見が異なる。普段聞くことのできないさまざまな立場の人たちの意見を聞くことができきることも、ミーティングを開催する一つの意味である。  
最初からテーマを絞りきれない部分もあるが、ミーティングを重ねる中でテーマが絞られ、それに関する意見を聞くことが出来ると良い。
- ・公園の利用を考える場合、公園にたむろしている人たちが問題だが、公園管理運営協議会が清掃をするようになり、そういった人たちは減ってきたとこども文化センターの館長も言っていた。(佐藤委員長)
- ・たばこの喫煙・ポイ捨てに関しては、今のご時世がら強く注意をしても良いのではないかと。(富田副委員長)
- ・夜間の中高生の騒音の問題など、苦情がすべてこども文化センターに来る。ボール遊びや木登りなども本来はやらせたいが、何かあったときにこども文化センターでは対応できないため、今のままではできない。地域の人が入る中で、意見をまとめ、反映できると良いという声があった。(河村委員)
- ・水曜日4時過ぎに公園の利用者が70人いた。入れ替わり立ち替わりで100人近い子どもたちが遊んでおり、公園ミーティングの際は、狭い中で遊びの出前で何をやるか考え中である。(河村委員)

## □坂戸公園

- ・坂戸第二町会と坂戸住宅自治会の二つの自治会で構成されており、ともに張り切っている。具体的には公園ミーティングで意見を聞きながら、どう進めるかを決める。(富田副委員長)

## □その他

- ・事前の広報はどのようになっているのか?(富田副委員長)
  - ⇒(事務局)坂戸地区については、チラシを作成し地元へ渡した。ポスターもパウチしたものを公園に掲示する。溝口南地区については、事前の回覧を検討したが、既に回覧の仕分けが終わっており間に合わなかった。子育て支援センターに配付を依頼した。公園へのポスター掲示も町会にお願いした。

## <学校施設の活用>

- ・子母口地区の「ザ北風っ子」(2月12日開催)に、参加できる委員は参加する。(佐藤委員長)

### <町会自治会未組織地域への働きかけ>

- ・地区町連会長に区民会議からの要請書を渡し、現在、町連を中心に動き出している。(佐藤委員長)
- ・地域振興課からガーデンアクアス管理会社を通して防災訓練への参加を呼びかけた。当日は、管理組合から3人が視察に来た。かなり参考になり、関心を持ってもらえたようだが、その先がどうかということはまだわからない。(冨田副委員長)
- ・顔つなぎができたことは良いことであり、今後は区民会議が取り組みの中心になるということではないが、行政や地区町連、区町連を中心に実現に向けて進むと良い。(佐藤委員長)
- ・アルス溝口に自治会組織の立上げに熱心な人がいる。アルス溝口も具体的に動き出すのではないかと。(冨田副委員長)
- ・第一民児協が、月一回久地老人いこいの家で梅の里という子育てサロンを開催しており、参加者の8〜9割がマンションの住民だ。管理組合の人とコンタクトができると、チラシの配付やアンケートをお願いできる。(横山委員)
- ・千葉県で三井不動産がマンションを建設した際、コミュニティセンターを整備し、そこを運営するNPO法人を立ち上げた。NPOが町会の役割を果たしながら地域の人たちを取り込んでいくアプローチの仕方もある。(河村委員)

### (3) たかつ区民会議フォーラムについて

事務局が資料4「第3期たかつ区民会議フォーラム企画案について」にもとづき、フォーラムの開催案を説明し、意見交換をした。

- ・日程候補については、3月11日(日)は震災1周年ということでさまざまな団体による催しが予想される。防災を主たるテーマに取り上げるのであれば11日に開催する意味があるが、区民会議の活動報告ということであれば、わざわざ11日にぶつけることはない。(横山委員)  
⇒(事務局)全体会には、3月10日(土)午後2時から4時を候補日として提案する。
- ・学校施設の活用事例について、たかつ子ども祭りの報告は、教育会議選出委員の金さんを通して、核になった人をお願いしてはどうか。(冨田副委員長)
- ・ガーデンアクアス(町内会未組織地域の活動)については、進捗状況によってはアルス溝口に変更することもある。
- ・早稲田大学にヨーロッパの広場を再生することでコミュニティを活性化することを研究している先生がいる。事例紹介を含め、グローバルな視点から話を広げた方が良いのではないかと。(伊中委員)  
⇒(事務局)第3期の活動を踏まえて評価をした上で、次につなげるための活動を紹介してもらっても良い。区民会議の活動を総括する場を作らないと、報告しただけで終わってしまう。
- ・専門家に評価をしてもらうことが重要ではなく、地域住民がその活動をどうみるか、何が動き出すことができたかが重要ではないかと。(伊中委員)
- ・各地の実践的な取組を紹介しながら区民会議の活動を位置づけてくれる人の話が聞きたい。理論形成的な話は聞かなくても良い。(冨田副委員長)
- ・ああいうこともできるかも知れない、こういう発想もあるんだというように、話を広げてくれる人が良い。(河村委員)
- ・成城のまちづくり、世田谷トラスト、自由が丘の商店街など、それぞれに先進的にコミュニティに取り組んでいる人たちがいる。そういった人たちの話の方が面白いのではないかと。(伊中委員)

⇒(事務局)日程候補(3月10日(土)午後2時から4時)と会場のみを決めて、構成以下については全体会で検討したい。

#### (4) その他

##### □第2回区民会議摘録

資料5「平成23年度第2回高津区区民会議(摘録)案」が、公開用の摘録である。訂正等ある場合は、今週中(11月11日(金))に事務局に連絡することを確認した。

##### □次回区民会議(11月24日)の議題について

本日の意見交換を踏まえて、新しい形のコミュニティづくりについて検討することを了解した。地域防災の取組み、溝口南口整備、多摩川バーベキューのその後の状況について、事務局が説明をする。

##### □今後のスケジュール

事務局が資料6にもとづき、今後のスケジュールを確認した。

- ・第3回高津区区民会議 11月24日(木) 18時から開催する。
- ・1月29日(日)開催の区民会議交流会には、佐藤委員長、富田副委員長、河村委員が参加する。
- ・第5回企画運営会議の開催について、2月中旬の開催では区民会議フォーラムの内容について最終的な確認をする期間がない。

⇒12月中旬の開催を想定し、11月24日の全体会の際に日程を調整する。

##### □たかつ区民会議ニュース

たかつ区民会議ニュース第6号については、事前にファックスで各委員に意見を聞いたが、とくに修正等の連絡はなかったので、印刷に入ることを了承した。

##### □公園ミーティング

公園ミーティングについては、チラシの余部があるので、持ち帰りPRすることを確認した。

### 3 閉会